

名前:

インターネットは近年急速に普及し、またその機能も非常に多様化し、今や新聞や雑誌のような他のメディアの役割をも兼ねるようになってきている。何よりその便利さから、多くの人々に使われている。だが、インターネットが他のメディアの役割を完全に演じることは本当に可能なのだろうか。

インターネットの登場によって取って代わらなければならない新聞や雑誌といったメディアは、インターネットに比べ汎用性が低い。新聞は新聞以外の何者でもなく、雑誌も雑誌以外の機能をもっていない。ただそれだけで多くのことが可能なインターネットはこれらの古いメディアに比べてあまりに便利である。

ただ、この便利さこそが、私がインターネットよりも雑誌や新聞を推したくなる理由の一つだ。パソコンの画面上に色々なメディアを実現するインターネットを使えば、マウスの操作一つで様々なものが見れる。次から次へと、私たちの目に真新しい情報が飛び込ん

でくる。それによって私たちが多くの情報を一度に吸収できるかという点、そうではないと思う。新聞や雑誌の利点は、読む側を一つのメディアに集中させ、情報を確実に受け取らせることではないか。インターネットよりもはるかに深く情報を知ることができると思う。

もう一つの理由として、「物体性」という言葉を挙げたい。新聞や雑誌は紙などの形をもつ。これはメディアとしての役割を終えた後も、人が捨てたりしない限り後に残る。このことは人が後にふと見つけて読み直し、また新たな発見をするという行為を可能にする。また、その物体性から、手でもつ、ページをめくる、机の上に置くなどといった動作を私たちにさせる。これは一見面倒なようだが、インターネットなどよりもはるかに私たちが文化に根ざしている。これにより情報の持つ感動や印象をより強くしているのではないかと、やはり私は、まだ新聞や雑誌は必要だと思